

運河と天王洲アイル

関東大震災のあと、東京・横浜間の海上輸送の重要性が高まり、埋立地造成と運河が開削されました。今回は京浜運河とそれに繋がる天王洲運河、高浜運河、目黒川の周辺を歩きます。

月 日 **5月23日(火)** 予備日 5月26日(金)

集 合 **JR 高田馬場駅 2番ホーム(新宿・渋谷方面行き) 前から2両目付近 13時**

コース 高田馬場駅 ⇒ 品川駅 … 品川セントラルガーデン … 品川浦 …
13:02 13:26

天王洲アイル … 東品川海上公園 … 聖蹟公園 … 品川神社 … 新馬場駅

注) ⇒ 公共交通機関 … 徒歩

約5kmの、平坦な歩き易いコースです。

品川浦 かつては豊富な水揚げがあり、海苔の主要な産地でもあった。現在は釣り船や屋形船の船宿が多い。

天王洲アイル 京浜運河、天王洲運河に面した総面積約22ヘクタールの埋立地である。オフィス商業複合ビル、商業店舗、アートギャラリー、イベントスペースなどからなる再開発街区である。

聖蹟公園 旧東海道の品川宿本陣のあった場所である。大名や幕府役人の宿泊所が置かれたところで、明治元年(1868)に明治天皇が京都から江戸城入りするときの行在所となったことから聖蹟公園と名付けられた。

品川神社 文治3年(1187)、源頼朝が安房国の洲崎神社から海上交通安全と祈願成就の守護神として勧請したのが始まりである。東海七福神の一社で、大黒天を祀り、富士塚もある。また境内には板垣退助の墓がある。

小島 恕雄

〒202-0022 西東京市柳沢 1-11-2

電話 042-427-5032

携帯 090-1131-0768

メールアドレス mogaribuester@gmail.com